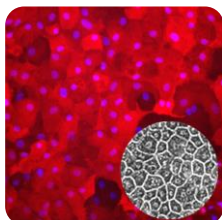


「2D培養による初代/iPS細胞由来ヒト肝細胞の長期間維持培地」と
「迅速・簡便な抗体精製法」の薬物動態解析への応用



日時：11月30日(木) 11:45～12:45

場所：D会場 (2F 平安)



「2D培養による初代/iPS細胞由来ヒト肝細胞の長期間維持培地」の応用

演者：Annika Asplund (Takara Bio Europe AB)



要旨

これまで用いられてきた実験動物や初代ヒト成熟肝細胞(および、その抽出物)に由来する種差やロット間差などの影響の無い、ヒトiPS細胞由来肝細胞(hiPS-HEP)の薬物動態試験への応用が期待されています。その一方で、従来技術により作製されたヒトiPS細胞由来肝細胞では、初代ヒト成熟肝細胞と比較して、薬剤代謝などの肝細胞機能が劣る点などが課題として指摘されてきました。本セミナーでは、こうしたhiPS-HEPの課題の克服を目的に新たに開発された長期肝細胞2D培養技術により大幅な機能改善と慢性毒性試験などの試験適用範囲の拡大が可能となった「Cellartis® Enhanced hiPS-HEP v2 Kit」、ならびに、本長期培養技術をヒト初代肝細胞用に最適化した「Cellartis® Power™ Primary HEP Medium」の特徴と毒性・薬物動態解析への応用についてご紹介します。

「迅速・簡便な抗体精製法」の薬物動態解析への応用

演者：井上 晃一 (タカラバイオ株式会社 営業企画部)

要旨

革新的な膜テクノロジーにより簡便・迅速な操作で高濃度の抗体精製が可能なカラム「Capturem™ Protein A」の特徴と抗体医薬の薬物動態解析への応用例についてご紹介します。

